若手委員会

業務改善やＯＡ化で組織強化

県老連副会長
山口 幸雄（南あわじ市）

老人クラブは、クラブ活動を次世代に引き継ぐため、組織の維持に総力挙げて取り組まなければなりません。定例事業を実施するのが精一杯で、役員・後継者づくりに時間が取れません。このため業務改善やＯＡ化によるスピード化等が必要です。

新たな事業等は若手会員に、継続的な事業には高齢会員が当たり、行政の支援をお願いします。行政と協働で、地域の活動には老人クラブが地域に役立つ事業展開を行い、次世代への指針を示していきたい。

知事からのコメント

老人クラブは情報発信の充実により魅力アップを

兵庫県知事　**井戸 敏三**

県内老人クラブ連合会代表者等からの発言に対し、井戸兵庫県知事から次のような助言や提案をいただきました。

ワールドマスターゲームズが２０２１年に兵庫県内でも開催される。スポーツを通じた老人クラブ活動に取り組んでほしいので、体育協会などとも相談してほしい。

また、老人クラブは仲間以外への情報発信が十分でないと思うので、一般の人にも投稿してもらうオープンなサイトを設けるなど、ＳＮＳを通じて気楽に地域の皆さんに情報発信すれば、活性化に繋がると思う。

会員増強について、若い高齢者に地域活動のリーダーといった役割を作ってもらうようにすれば、会員になる人が出てくるのではないか。

高齢者が自分の子どもである「お父さんお母さん世代」と交流することに焦点をあててほしい。

災害弱者は一人では避難出来ないので、誰かに手伝ってもらわないといけない。日頃から個人ごとに役割分担してチームでの支援体制を作れば、地域の防災力が高まる。

健康づくりが医療費の削減につながっている。県老連に相談窓口を作って、分野ごとに体協や社協、県ともタイアップして、健康づくり活動に頑張っていただきたい。

役員を支援する有償ボランティアは、まずは無償ボランティアとして若い人に手伝ってもらう方法があるのでは。

仲間づくりの男女の役割分担について、活動には創意工夫をして、地域に相応しい活動を展開してほしい。

西播磨ブロック

「地域のつながり」で防災や高齢者支援

県老連理事
木村 幸雄（上郡町）

平成 30 年７月豪雨の際、避難指示や避難勧告が出されていたにも関わらず、多くの方が逃げ遅れました。助かった人は、「近所の人の声かけで避難した」とのこと。「地域のつながり」が必要だと実感し、防災・防犯・子育て支援・高齢者支援等に繋がるものです。

地域ネットワークの構築が急がれ、上郡町でも協議体を設置し、老人クラブも参加して町づくりを協議しています。自助・共助の面で努力しますので、公助の面でのご支援をお願いします。

但馬ブロック

運転免許返納者に対しバス利用助成を

県老連副会長
田畑　勉（豊岡市）

但馬地域での運転免許返納は、高齢者の生活圏の縮小や社会的交流の減少になります。継続する場合、地域限定免許制度の創設、免許返納者にはバス等の乗車券の助成をお願いします。

但馬地域には７公立病院がありますが、これらの病院への通院には地域によっては１日を要します。へき地の医療に従事する医師不足により多くの診療所が閉鎖しています。県養成医師には、一定期間公立病院だけでなく『診療所』への派遣をお願いします。

丹波ブロック

小規模単位クラブにも人数に応じた助成を

県老連理事
羽田 登喜雄（篠山市）

老人クラブは、関係機関や団体等と連携し、友愛活動や見守り活動などの「地域支え合い事業」を積極的に推進しています。

高齢化や加入会員の不足等とあわせて、２～３集落で１クラブを形成している場合、事業の連絡や調整が困難な時があり、ますます衰退します。誰もが自分の集落の中で活動したいのです。単位クラブの補助金制度を見直し、会員数 30 名未満のクラブでも１クラブとする制度（人数に応じた補助金）への見直しを要望します。

淡路ブロック

助成額の増額で有償ボランティアを配置

県老連理事
市川 富夫（南あわじ市）

貸切りバス運賃の適正化等により、利用者負担が重くなりました。老人クラブ活動にバス利用は欠かせないものであり、県民交流バスの補助額の増額および利用エリア拡大をお願いします。

単位クラブのリーダーは、会員への事務連絡と事務処理が十分には出来ていません。県・市の助成額を増額し会員も負担する中で、事務処理の有償ボランティアを置くことで、リーダーの負担軽減に繋げれば、単位クラブ廃止を防ぎ、活動の場も広がります。

女性委員会

仲間づくりが出来れば楽しく実践

県老連副会長
古家 憲子（市川町）

女性は、責任感が強く、行動力があります。男性の理解と協力も大きな力です。大切な事は仲間づくりだと実感します。芸能発表会･バザー･サークル活動等の活動、それら活動への話し合いでも、仲間づくりが出来ていると、素晴らしいアイデアが出てきて楽しく実践できます。

高齢者が安心して楽しく生活するために、フレイルの予防はもちろん、老人クラブの力に県の取り組みがカバーされ、市町が実践し老人クラブが動くことは素晴らしいです。

わたしたちはのじぎくクラブ兵庫の活動をサポートしています